

## ◆サイドカーレース



レーシングサイドカーは国内において市販車は存在しません（F4クラスを除く）。

各チームが海外より輸入もしくは自作して参戦しています。大別してマシンは3カテゴリーあります。

ロングホイールベース・アルミモノコックシャーシの世界選手権参戦車両レベルのF1クラス。

搭載されるエンジンは4サイクルのオーバー1000ccクラス市販2輪車や2サイクル500ccのレーサーのエンジンなどバラエティに富んでいます。

ショートホイールベース・パイプフレームはF2クラス。国内のF2クラスに搭載されるエンジンはF1クラスと同様、4サイクルオーバー1000ccクラスの市販2輪車が中心となっています。レースはF1/F2クラスの混走となります。台数的には市販車がない事もあり、全国でも20~25台程度と少ないレーシングマシンです。

しかし、このことは逆にこのレース、マシンを見た人達には新鮮で強烈なインパクトを与えます。

その特異なフォルムが他のカテゴリーのどのレーシングマシンと比較しても非常にユニークであるため、とても注目率が高い存在であるのです。

そして日本独自のF4クラス。エンジンは80ccのモトクロス（レーサー）をパイプフレームに搭載、タイヤはレーシングカート用。レースはカート/ミニバイク用サーキットを中心に開催。マシンはコンパクトですが大人二人乗車でもスピーディに走行します。

サイドカーレースはクローズドサーキットで唯一2名乗車でレースを行うものであり、二人のコンビネーションが大きくレース結果を左右する事となります。

マシンの通常の運転操作をするドライバーとサイドカーの横に乗り、コーナリング・ブレーキング・加速時と状況に応じて体重移動でマシンのバランスを保たせる仕事を担当するパッセンジャーの大胆かつ繊細なアクロバティックな動作は観る者2の目を捕らえて離しません。



F1/F2クラスのスタートシーン



F1クラスのコーナリング (左)



F1クラスのコーナリング (右)



F4クラスのコーナリング (右)

### ◆F1/F2クラスのレース出場過程

主催者によって形式は少し異なりますが、富士/岡山でのレースの際には前日に30分のフリー走行があり、決勝当日午前中にタイムアタックの予選が行われ決勝グリッドが決まり、午後の決勝を迎えます。

筑波のレースはワンデーレースです。

決勝レースは35~40km、走行時間は15~20分のスプリントレースです。

年間5~6戦のJRSA（日本レーシングサイドカー協会）シリーズ戦が開催され、ポイントを加算、一番低いポイントの1レース分を減算した有効ポイントのトータルで年間チャンピオンを決めます。

rt.GREEN PEACE with ABEZ

We love SIDECAR RACE! since 1981

事務局 〒230-0077 横浜市鶴見区東寺尾 3-6-12  
(有)アクセルワーク内  
PHONE/FAX:045-573-9380  
e-mail:tutiya@bun.ne.jp

